

なんと

講談会

神田 鯉栄

まるっとわかる講談ワークショップ
忠臣蔵(赤穂義士伝)の一節
「言い立て」体験

生で聴く! 体で感じる! 迫力と臨場感の講談
赤穂義士銘々伝より『赤垣源蔵 徳利の別れ』

ほか一席

2020年2月1日(土)

14:00開演(13:30開場)

城端別院善徳寺 北の書院

富山県南砺市城端405

JR城端線城端駅から徒歩10分 / 東海北陸自動車道福光ICから車で5分

全席自由 2,000円

主催・お問合せ: 粋まち 03-6426-1728

チケット取扱い:

南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

(9:00-18:00 ※火曜日・年末年始休み)

カンフェティ 0120-240-540

<http://confetti-web.com/nanto-kodan>

(平日10:00-18:00)

後援: 一般社団法人南砺市観光協会



あの「忠臣蔵」の一節を
あなたも名調子で
語ってみませんか?

かんだ りえい

2001年、三代目神田松鯉に入門。日本講談協会前座。きらりを名乗る。2002年、落語芸術協会前座。都内寄席にて寄席修行。2006年、日本講談協会、落語芸術協会で二ツ目。2016年、落語芸術協会、日本講談協会で真打。鯉栄と改名。都内寄席(浅草演芸ホール、本牧亭、新宿末広亭、国立演芸場、池袋演芸場、上野広小路亭など)、全国地域寄席出演の傍ら、テレビ、ラジオ、ナレーションの他、勉強会の開催、講談を活かしたイベントなどで活動中。古典を中心に新作にも力を入れている。2019年12月には、浅草演芸ホール史上初の女流講談師単独主任興行に抜擢。日本語を勉強している外国人へ向けても積極的に活動。2012年、イタリア各地の大学で実演。2016年にはイタリアのローマにて単独公演。同大学では、講師も務めた。NHK学園くにたちカルチャースクールにて講談教室の講師を務めている。